

クラフト

いらなくなった廃品や安価で買える材料を使って、花鉢や観葉植物をラッピングしてみましょう。アイデアひとつで、あっと驚くほど素敵なオブジェに変身します。窓辺やテーブル、玄関先を飾るのもいいでしょう。プレゼントとしても気がきいています。

鉢物のラッピング講座

🌿 杉の皮で植木鉢を化粧する



①杉の皮はくるくると巻いたひと巻きで売っています。これを、鉢の周囲の長さに合わせてハサミで切りまわす。鉢に高さがある場合は足りない場合には、2枚を少し重ねて巻くので、同じ長さの物を2枚切ります。これをサイネリアの鉢に巻きます。



②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

●作り方

鉢物は、黒いポリの鉢や白い愛想のないプラスチック鉢に入っていることが多いもの。それを、竹細工屋さんや日曜大工用品などで購入できる杉の皮で化粧してみましょう。ウッドディーな雰囲気は、木製のデッキや煉瓦のテラスなどに実に似合います。

(材料)
花ノ葉のサイネリアの鉢
杉の皮、パーク、シーナマイロール(木の繊維でサクザクと編んだような素材)の茶色を紐状に切ったもの

アドバイス
今回はシーナマイロールをリボンのように結びました。ラファイアという素材を使用してもいいと思います。パークを多めに大目に使って、鉢の白を上手に隠しましょう。



①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿



①鉢の白い部分が上方に少し見えてしまうので、鉢の中をパークで飾って隠すようにします。



②シーナマイロールを紐状に切ったものを杉の皮の上から巻き、リボンのように結びます。

🌿 モヘアの毛糸を使って「めびな」と「おびな」風にする



①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿



①花は好きなものを選んで小さなおブーケにし、輪ゴムでまとめておきます。オアシスはあらかじめ水につけておき、ワイングラスの口のサイズに切って角をとっておきます。

●作り方

(材料)
花ノピンクと白のチューリップ、ピンクと白のキンギョソウ、コデマリ、リースフラワー、バラ。

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

アドバイス
毛糸は細くてやわらかいモヘアが、編んで優しいイメージを出しやすいです。その他の毛糸を使ってもいいと思います。生ける花は、毛糸の色に合わせてアレンジするのがコツ。毛糸と同色を集めるとしっくりきます。



①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿



②ワイングラスにオアシスを入れ、ブーケを差し込みます。差し込むときには、つま楊枝などで穴を開けておくとうまくおさまります。



③机などに置いたときに安定するように、ワイングラスの底は完全に隠します。



コニャックが入っていた紙の箱に花を生ける



①オアシスの水がしみないように空き箱にセロハンを敷き、オアシスを入れます。



②花と空き箱は、色が白った方がいいでしょう。オアシスはあらかじめ水につけておき、空き箱のサイズに合わせて切っておきます。

●作り方

(材料)
花/パンジー、サイネリア、アジアンクアム、レースフラワー、コデマリ、観葉植物各種
ちよつと気のきいた色やデザインのおき箱、オアシス、楊枝、レースのリボン、セロハン

今回はお酒の箱に切り花を生けてみました。が、指輪の入っていた小さな箱や、お菓子の素敵な空き箱などを利用するのもいいでしょう。オアシスを使うと、どんな物にでも花が飾れるのです。

アドバイス

花は同系色でまとめるのもよし、ピピッドなカラーを入れるのも変化があつていいものです。花に高低差をつけてあげると美しい出来ばえになります。観葉植物などグリーンも入れながらまとめていきます。



③仕上げにレースのリボンなどをあしらうと、よりエレガントになります。

④折れやすい花の場合は、楊枝を深く差し、その穴に花を差し上げるようにします。



水はけのよいシーナマイロールで包む



①二つに折ったシーナマイロールの中央にカレンジュラの鉢をすえて包みます。



②シーナマイロールは、二重で使う方がゴージャスな感じが出るので、長方形に切っておきます。

●作り方

(材料)
花/黄色とオレンジのカレンジュラの鉢植え
緑と黄色のシーナマイロール、リボン、多少深さがある鉢がすっぽり入る大きさのガラスの皿

シーナマイロールは、花屋さんや服飾用品を取り扱っているお店、ホームセンターなどで簡単に購入することができます。ざるの目のような編みなので水はけがとてよく、鉢植えなどを包んでそのまま受け皿などに入れば、水やりにも不自由ありません。

アドバイス

シーナマイロールという素材は、いかようにも形を変えるので、いびつな形の物を包むのも簡単。指先で押さえたりのまったりすることで、微妙な変化がつけられるので、最後に全体的なバランスを見ながら、形を整えていきます。鉢花の色と同系色が合う色を選んで包むのが、きれいに見せるコツです。



④完成です。



⑤ティールなどに飾るときには、鉢から水が落ちないように深めのおしやれな皿に入れます。



⑥鉢より上の位置をリボンで飾ります。

果物用の保護ネットで作った鉢花に洋服を着せる



このネットのひとつは半分の長さでハサミで切り、鉢の底を覆います。鉢の底の穴から土が落ちないようにするためです。



●作り方
①果物の保護ネットは2つ用意します。リボンは箱にいたいたラシゼントのリボンなどをとっておいて使うといいでしょう。

りんごや梨、桃といった果物がぶつかって傷むのを防ぐ白いネット。ぽいっと捨てがちなものですが、この次、手に入ったら捨てないでください。ひと工夫で鉢花をかわいらしく飾る服に変身します。

(材料)
花／黄色と紫のパンジーの鉢植え、果物の保護ネット、リボン、大きめの皿



②リボンを結んでえりの部分を覆がせます。



③ネットの斜めに走っている線にそってハサミを入れ、えりらしく見えるように切り取ります。



④ネットの上を折り下げます。この部分はえりになります。



⑤もうひとつのネットを鉢にすっぽり被せます。このとき花が傷まないようにちょっと注意しましょう。

この鉢花に合った色合いやデザインの平皿に置いて完成です。

アドバイス
保護ネットは、カウラスプリーなとで花に合わせた色に着色してかわらうのも素敵です。

監修／堤田園子





夜を美しく演出

ライティング術

夜の街をイルミネーションで幻想的に飾るといのが、静かなブームになっています。その中にいると、なぜか厳粛な気分になったり、気持ちが落ちついてくるから不思議ですね。そんなムードーな空間を自宅で作ってみましょう。花や観葉植物、ハーブ、ちょっとした小物で、あなた流にコーディネートすれば、またひとつ、ガーデニングの楽しみ方も広がっていきます。

お客さまを招待するときのちょっとしたアイデア——季節感あふれるライティング、気の合った仲間との夜のひとときを過ごすのにぴったりなテーブルメイキングなど、憩いのひとときを、きつと充実させてくれる趣向ばかりをご紹介します。ぜひ、実践してみてください。

自宅にあったリースを使って おもてなしのテーブルを演出する

普段は壁などにかけてあるリース。これを大皿にテーブルに置き、キャンドルなどのほのかな明かりで飾ると、ちょっとしたおもてなしの場に変身します。大切なお客さまにも、仲良しの友人にも使



えるでしょう。

(材料)

リース、緑と赤のワイナグラス各1、色や模様の入ったキャンドル2つ

(ポイント)

キャンドルの光はとてもムードー。リースの他、寄せ植えの鉢にいくつかのキャンドルを組み合わせるのも素敵ですよ。

今回はワイナグラスを利用してキャ

ドルスタンドにしてみました。熱で壊れることがあるかもしれないので、その点は十分に注意して下さい。市販のキャンドルスタンドで気に入ったものをあれこれ集めておくと、その時のムードで選べます。

フルーツなどを盛る大皿を花で飾る

鉢植えの花や切り花、庭に咲いている花で少し古くなりかけてはいるものの、まだ捨てるにはもったいないというものを利用してみました。

花の部分を一輪ずつ摘んで、水はった大皿に飾り、テーブルに置くと、とてもシャレた感じになります。夕方などにキャンドルの光のもとで見る花たちは、一層素敵です。

(材料)

大きくて浅めの皿。花はコチヨウラン、ポリアン、マーガレット、パンジー、レリスフラワー。好きなキャンドルとキャンドル・スタンド。



(ポイント)

皿にはる水は少なめにし、花びらをつたり水につけないように軽く浮かせるのがきれいに見えるコツ。こうすることで全体的にふわっとした感じが出るし、何より花が傷みにくいです。

花はもちろんその時その時、あなたのそばに咲いているものを利用するといいでしょ。

庭をクリスマスムード満点にアレンジ

全部あわせると400球ものライトを使ってデザインしたクリスマスのための空間。そう広くないスペースですが、奥行きを出すために「森」をイメージしてデザインしています。コニファー類のス



森を半分に分けて、それぞれ雰囲気を造っています。こちらは、点滅ライトがブルー。白夜とか、オーロラがゆらめく北極のクリスマスといったおもむきです



オレンジ色に点滅するライトは、点滅の速度が違うものを組み合わせながら使っています。森を幻想的に浮か上らせる効果はバツグン!

寄せ鉢をラッピングして 大きなリボンでまとめ、 点滅ライトで飾りつけ

比較的大きな鉢で、色の組み合わせなどを考えながら寄せ鉢しました。裏に行くに従って鉢を高くし、気に入った和紙などでラッピング。それをプレゼントの



ようにリボンでまとめます。丸いサマーテーブルいっぱいにつめたので、かなり大きなものに仕上がっています。バランスを考えて、周囲をめぐらせたライトも大きめのものを使用しています。

(材料)

鉢はシンビジウム、サクラソウ、白のシクラメン、銀ヤナギ、各種観葉植物。

和紙、リボン、大きな飾型の点滅ライト。

(ポイント)

自宅にある鉢物の植物などでも十分できます。高低差を考えながら配列し、色のバランスを見ながら作っていくといいでしょう。ラッピングやリボンは鉢物の全体的な色合いに合うものを選ぶようにします。

ガーテニング愛好者の間で人気のライトアップ用品

ちょっと雰囲気を変えて、ライトアップされた庭を見ながらお酒を楽しんだり、昼間は仕事に出ているけれども、夜のベランダや庭のガーテニングを楽しんでいますという人などに人気の照明グッズを紹介しましょう。

まずは、クリップ式のライト。最近ではデザインが素敵なものや、防雨タイプまであって、かなり買い求める人が増えてきた商品です。クリップで手軽に固定できるのも人気のひみつ。特に気に入っている寄せ植えの鉢や植木などをポイント照明したり、ライトをクロスさせたりすると楽しいでしょう。

キャンドルも防虫効果があったり、ハーブの素敵な香りを楽しめるものや、デザインや色が美しいものが多く出回っていて人気の商品。アツキなどのテーブルに置いて食事などをしている時には、風で火

が消えないように深めのキャンドルスタンドを利用するといわれています。ワインやブランデーのグラスのようなものから、西洋の宮廷の燭台のようなもの、非常に個性的なものまであって選びがいもあります。色つきのグラスタイプは、炎の色を変えてくれるので、さまざまな雰囲気を出してくれます。

室内でのライトアップを楽しむ場合、花鉢や観葉植物に直接光を当てるとおぼつかない方法、キャンドルやクリップライト、スタンドなどを揺るから当ててそのシルエットを楽しむのもおつなものです。



憩いのひととき 食卓テーブルを ゴージャスにライトアップ

あなたがいつも食事をしているテーブルに、ちょっとおしゃれなテーブルクロスをかけてみましょう。その上にあなた流にコーディネートした花々と観葉植物を置いてみます。今回はグリーンの下に、点滅ライトを一層させてみました。ほのかにまたたくキャンドルのライトも加わって、パーティーの準備はできました。ワイン片手に、楽しい語らいに時間が過ぎていきます。

(材料)

花はレースフラワー、ストロベリー、キャンドル、など。バラ(レオニダ



ス、ローテ、カンガルーボウ、グロリオサ、スマイラックス。

点滅ライト、キャンドルスタンド、キャンドル。

(ポイント)

食卓テーブルではありますが、思い切って大胆に花をコーディネートしてみよう。あまり花にライトをあてるといけないのでは、と心配する人もいるかもしれませんが、お客さまがいらっしやる数時間のライトアップですから、植物を傷めることはありません。

ちょっとした工夫が、お部屋の雰囲気を昨夜のそれとはまったく違ったものにしてくれます。その代表がライトアップ、チャレンジしてみてください。